

グローバル化における流通と販売におけるコアコンピタンス

黒田インターナショナル

黒田 毅

世界市場の統一は、その競争における勝者が、自己の栄光とともに市場を占有するのである。これらは競争原理と市場原理における勝者がその資本力とともに、市場の標準化を実現するのである。

これらはこの基準における企業転換と流通の効率化を、世界市場においてそのシステム構築とともに実現することは、世界市場におけるコアコンピタンスを構築できるのである。

これら効率的な世界市場における販売は、コストと効率基準を大幅に上昇させ、企業の高い利益性の構築を実現できる。

これら絶対的な企業の健全性は、時代先端性への参加を可能とする。

これら世界における勝ち組は、その新しい未来の創造を自己として有するのである。

これらコスト対効果における新しい企業の利益性の構築は、企業が自己の創造を新たに実現できるのである。

これらは新しい企業システムの先端性が新しい企業の基準を有するのであり、これらは日本企業がその創造性の欠如における弱さを有することに対して、その新しい挑戦者たちは、全く新しい現実を有するのである。

これら企業効率性の新しい基準は、異なる企業文化を有するのである。これらは明らかに新しい現実が未来へ進んでいるのであり、これらは既存現実から新しい企業の現実へと変化しているのである。